

個人研修奨学金

台湾

占部 桃香 政経学部 法律政治学科 3年

千葉県私立桜林高等学校出身
2023.4 拓殖大学入学
2025.8 個人研修参加



國立臺灣師範大學

中国語を学び、台湾文化を感じた3週間

【研修先大学の紹介について】

國立臺灣師範大學は、臺灣を代表する教育機関の1つであり、特に教師の養成や語学教育、芸術分野で高い評価を受けている大学です。その歴史は、1946年に「臺灣省立師範學院」として設立されたことから始まります。しかし、その起源をたどると、日本統治時代までさかのぼることができます。1895年から1945年までの50年間、臺灣は日本の統治下にあり、その間に日本政府は教育制度の整備を進めました。日本語が公用語として使われ、多くの教育機関が設立されました。その中でも臺北臺灣師範は将来の教師を育てるための中心的な教育機関として位置づけられていました。戦後、日本の統治が終了した後も、その基盤を引き継いで、台湾の教育の中心として発展を遂げたのが國立臺灣師範大學です。1967年には現在の大学名に改称され、現在では国際交流にも積極的で、特に中国語教育の分野では世界的に有名な「華語文教學中心」を運営し、多くの日本人留学生もここで学んでいます。

【学校生活について】

國立臺灣師範大學の短期留学コースの授業は、少人数制で学生のレベルに応じてクラスが分かれているため、授業自体の難易度はそれほど高くありません。この短期コースでは、毎週月曜日に学生同士の交流会が開催されており、臺灣の学生とも直接交流する機会があります。

また、授業とは別に選択式で文化授業と校外授業があり、それぞれ3つずつ受講することが条件になっています。私が選択した文化授業は、太極拳・臺灣茶・中国結びです。いずれも臺灣の伝統文化に触れられる貴重な体験でした。校外授業は、士林夜市・羅東夜市・九份を訪れました。実際に現地に足を運ぶことで、教室では得られないリアルな臺灣の雰囲気を感じることができました。

【研修を通して得たこととその成果を今後の学生生活や社会へどのように還元するか、について】

私は、國立臺灣師範大學での短期留学を通じて、中国語のスピーキング力の向上と台湾文化への理解という、貴重な学びを得ることができました。少人数制の中国語授業では、実生活に即した表現を中心に学び、特にスピーキングに重点を置いて取り組みました。最初は聞き取ることすら困難でしたが、録音を活用して練習を重ねることで、次第に中国語が耳に馴染み、自然に発話できるようになりました。また、授業外でも街中の文字や会話に積極的に触れることで、「生きた中国語」の力を養うことができました。

この留学経験を、将来のキャリアにもつなげていきたいと考えています。中国語を使用する機会の多い企業や国際的な場で働くことを視野に入れ、今後も語学力の向上に努めるとともに多様な文化を尊重し柔軟に対応できる人材として成長していきたいです。そして、異文化の理解や他者との協働の重要性を、将来の職場や社会の中で共有していくことが、自分なりの還元だと考えています。



九份



臺灣茶